

2025年 (令和7年) 2月12日 (第三種郵便物認可) 昭和23年4月15日 毎月3回発行 (第1, 第2, 第3火曜日)

今号の特集
▷即席麺特集 (10~11面)
▷中華・韓国・エスニック調味料特集 (12~13面)
▷食用油特集 (14面)
▷新海苔特集 (16面)
中部飲食料新聞社ホームページ http://chuin.net/ (業界情報発信中)



第3534号 発行所 中部飲食料新聞社 名古屋市中村区名駅5-18-9 電話(052)571-7116代表 FAX(052)571-7118 東京局 東京都中央区日本橋横山町1-4 203 電話(03)5614-7531 FAX(03)5614-7532

中部 大正から 食を伝えて100有余年 飲食料新聞

国分グループ TOPPAN

25年食品市場予測

多幸化対応や昭和100年など

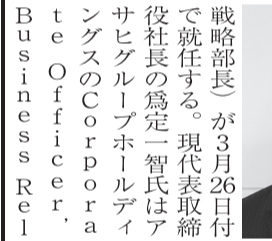
国分グループ本社は、TOPPANと協業でこれからの食品マーケットを予測した「TK Bridge 2025」を発売。
巻頭特集「多幸化」新しい幸せの形では、人々の価値観や嗜好、ライフスタイルなどの多様な変化が進み、さらにSNSをはじめ多くの情報があるなかで、意思決定の難しさや価値観の広がりや葛藤、境界線の曖昧化に焦点を当てている。
「2025年のキーワード」の主なものは、「昭和100年」として昭和レトロに絡めた施策が注目されると分析。食品関係ではナポリタンやプリンアラモード、クリームソーダなどの喫茶店メニューのほか、財団法人設立100年を迎える日本相撲協会に関連したちゃんこ鍋やゲン担ぎメニューなど様々な周年企画も注目する。
「冷凍食品新時代2.0」では、おいしさや利便性などのほか、減塩や



キユーピーG タイ、インドネシアで増産

キユーピーのグループ会社のキユーピータイランドとキユーピーインドネシアは、各既存工場内に新設した生産ラインが1月より本格稼働した。今回の生産能力増強によりアジア・パシフィックでのマヨネーズやドレッシングの需要増加に対応し市場を深耕。また、両拠点とも東南アジアではキユーピーグループ初の一般見学スペースも設けた。消費者との新たなタッチポイントを創出した。
「キユーピーブランド」のファンづくりを目指す。【キユーピータイランド】は、オセアニア地域を中心とした輸出事業が好調。23年度のマヨネーズ類の輸出実績(売上金額)は19年度比で3倍以上に急成長している。急拡大する輸出需要に加えて、今後も伸長が見込まれる。
タイ国内需要にも対応するため、東南アジアで初となる高速充填ラインを導入、従来の約2倍の生産スピードを実現した。また、同工場では18年から太陽光パネルを設置し、CO2の排出削減を実施。今回は新棟の屋上に太陽光パネルを設置し、工場全体の再生可能エネルギーの割合を約25% (22年度実績) から約35% (25年度予定) に引き上げる。
【キユーピーインドネシア】は、食の洋食化や外食産業の発展などの市場背景に加え、現地の食文化に合わせた商品開発やメニュー提案で業績は右肩上がりに伸びる。

味を素社の代表執行役員社長最高責任者に中村茂雄氏(前執行役員常務)が2月3日付で就任した。前代表執行役員社長の藤江太郎氏は執行役員会長に就いた。
藤江太郎氏は昨年12月に体調を崩し、回復は順調であるが完全回復には一定期間を要する見通しであり、経営の空白が生じるリスクを最小化するため代表執行役員社長の辞任の申し出が本人からあり、指名委員会での選定により中村茂雄氏の社長就任が決定した。
中村氏は社長就任に際して、



ニッカウヰスキーの代表取締役社長に、小野直人氏(現グローバル事業)が3月26日付で就任する。現代取締役社長の爲定一智氏はアシスタント社長に就任する。
小野氏の略歴
1978年2月22日生まれ。埼玉県出身。学習院大学経済学部卒。01年アサヒビール入社。22年アサヒグループジャパンマーケティングオフィサー。23年チーフマーケティングオフィサー兼マーケティング部長。24年ニッカウヰスキーグローバル事業推進プロジェクトプロジェクトリーダー。同年グローバル事業戦略部長。

自然のおいしさ!! エジマ ジヤム 小島食品製造株式会社 本社 東海市名和町一番割中25 電話 (052)603-3511

アヲハタ 新社長に上田氏
アヲハタの代表取締役社長に上田敏哉氏(現キユーピー執行役員生産本部担当)が2月20日に就任。現代代表取締役社長兼海外本部担当の山本龍雄氏は退任し相談役に就く。
上田氏の略歴
1968年10月26日生まれ。山口県出身。東京農業大学農学部卒。92年キユーピー入社。10年キユーピー工場長。15年生産本部生産企画部長。18年北京丘比食品有限公司工場長。20年キユーピー生産本部副部長。21年生産本部副部長。22年執行役員生産本部長。

ニッカウヰスキーの小野氏が社長に内定
ニッカウヰスキーの代表取締役社長に、小野直人氏(現グローバル事業)が3月26日付で就任する。現代取締役社長の爲定一智氏はアシスタント社長に就任する。
小野氏の略歴
1978年2月22日生まれ。埼玉県出身。学習院大学経済学部卒。01年アサヒビール入社。22年アサヒグループジャパンマーケティングオフィサー。23年チーフマーケティングオフィサー兼マーケティング部長。24年ニッカウヰスキーグローバル事業推進プロジェクトプロジェクトリーダー。同年グローバル事業戦略部長。

将来のお得意さん
昨年の訪日外国人旅行者数は約3686万人でコロナ禍前の19年を約50万人上回り過去最高を記録した。
先日、テレビで来日期間中は全てラーメンだったという人がいた。また、日本のコンビニのおりぎりやサンドイツの高いコストに感動する人が増えているという。ドンキホーテやドラッグストアなどで爆買いする訪日客はよく聞くが、日本の食品スーパーだけを巡るツアーや日本のスーパーマーケットという人は現時点ではあまり聞かれない。独自性が強く地域性も豊か、さらに外食と比べてほぼ同じクオリティのものがかなりのお値打ち価格で食べられる商品は日本の食品スーパーには無数にある。日本人にとってはごくごく普通のスーパーや商品にハマる外国人が今後増えてくる可能性は高いと個人的には見ている。

愛知海苔問屋協同組合
事務局 名古屋市中村区名駅5丁目18番9号 電話(052)571-7116番代
愛知海苔会館 名古屋市中村区黄金通4丁目11番地 電話(052)451-1618番代 FAX(052)451-3100番
(株)荒木海苔店 (株)坂井海苔店 (株)西山商事 (株)石川商店 (株)大勝 (株)浜乙女 (株)磯美人 (株)立石商店 (株)はごろもフーズ (株)おがわ (株)立石海苔店 (資)丸三吉田商店 (株)木村商店 (株)立松海苔店 (株)水谷商店 (株)近藤海苔店 (株)ト一カ (株)水谷海苔店 (株)近藤海苔店 (株)なが井 (有)美濃 (株)駒田乾物 (株)名古屋中央乾物 (株)駒屋 (名)森川弥六商店

三河海苔問屋協同組合
組合住所 〒441-8086 愛知県豊橋市問屋町11番地の3
代表理事 永井 秀典
(株)永井海苔 (株)三米本店 (株)杉浦水産 (株)石黒海苔店 (株)山ヨ柳原商店 (株)伊藤海苔店 (株)戸田理平商店 (株)佐藤海苔 (株)小島商店 (有)桑名海苔店 (資)山安 (株)丸上